

建設環境委員会活動報告

大雨による入曽駅周辺の被害を軽減し、安心して暮らせるまちに



執行部説明のようす



不老川雨水管整備事業のようす

文教厚生委員会活動報告

今春に供用開始となる予定の武道館を視察



文教厚生委員 ※撮影時のみマスクを外しています(12月1日撮影)



建設中の狭山市立武道館

主な議案審査

文教厚生委員会では、第4回定例会において、委員会に付託された市長提出議案7件を審査しました。

議案第87号「狭山市立武道館条例の一部を改正する条例」の審査においては、令和4年春に供用開始となる予定の新しい武道館について、建設中の現場を視察しました。

議案第97号「狭山市立山王小学児童保育室の指定管理者の指定について」の審査においては、現地の様子について写真などで補足説明を受けての議案審査となりました。



児童保育室について説明を受けるようす

閉会中特定事件の調査

GIGAスクールの運用についての調査を実施

10月21日に閉会中における特定事件として、GIGAスクールの運用について調査を行いました。

今年度より、狭山市立小・中学校の児童生徒に1人1台の情報端末が整備されており、その運用状況を調査するもので、ハードウェア・ソフトウェア、職員研修、ICT支援員、タブレット利用時数、各学校での授業の様子及び今後の取り組みについての説明を受けた後、質疑を行いました。

主な意見としては、人的な支援についても、教育委員会の現場で必要だと思われるものについては、ぜひ声を上げられたい。情報端末の落下事件が100件以上あるとのこと、ヒヤリハットで考えれば500件以上はそのような事例がある

閉会中特定事件の調査

と思うので、それを防がなければならぬ。タブレットの利用時数が学校間で極力平準化するように教職員への研修の機会もしっかりと与えていただき、ばらつきを無くされたい。外国人の方や不登校の方にも、個別最適化の教育を保障する目標に向けて、現場で明確な目標を掲げて取り組まれない。などがありました。

文教厚生委員会では、今後の学習活動の一層の充実とともに、全ての子どもたちの学びを保障できる環境を整備することは大変重要と考えております。今後もGIGAスクールの運用状況を注視して、調査研究を行ってまいります。



児童・生徒の学習用情報端末

主な議案審査

第4回定例会では、建設環境委員会に付託された7件の議案を慎重に審査し、2件の所管事務調査を行いました。主な審査・調査内容は次のとおりです。

●議案第92号

長期優良住宅法に係る計画認定の申請手数料等の金額を改め、新たに長期優良住宅法に基づく容積率の特例の許可申請手数料を定める内容の条例一部改正について審査を行い、改正が適正であることを確認しました。

●議案第94号

智光山公園のオートキャンプサイト等の使用料を新たに定め、宿泊棟等の使用料の額を改定する内容が適正であることを確認しました。

●議案第100号、101号

開発行為により、新設された路線の認定と、重複した市道の路線の廃止が適正であることを確認しました。

所管事務調査

不老川雨水管整備事業の進捗状況について

平成28年の台風による不老川の溢水により、河川周辺の入曽・堀兼地区において甚大な被害が発生しました。再発を防ぐため、埼玉県では平成29年度から令和4年度を事業期間とする「不老川床上浸水対策特別緊急事業」を実施しています。これを受け、市でも「不老川雨水管整備事業」を令和元年度から令和6年度の事業期間で行います。令和元年度の用地買収に始まり、令和2年度には実施設計が進んだ第一工区及び第二工区の付帯工事が始まり、入曽駅周辺の雨水対策が大きく進展することを期待しています。

建設環境委員会では、今後も「不老川雨水管整備事業」の進捗を注視してまいります。

第3次環境基本計画策定の進捗状況について

平成24年3月に策定した第2次狭山市環境基本計画では、望ましい環境イメージである「みどりを友とし地球にやさしい都市・さまざま施策を展開してきました。令和3年度に計画期間が満了となることから、本市の環境を取り巻く社会情勢の変化を踏まえて、第3次狭山市環境基本計画を策定する予定です。

本計画は、温室効果ガス排出抑制のため、総合的・計画的な施策展開に向けて定めた計画を包含しており、特に、環境を対象とした計画では長期的視野に立つことが重要であるため、本計画の期間は、令和4年度から令和13年度までを予定しています。